

米中緊張に押し込まれる日中関係をめぐる緊急討論 ——「永遠の隣国」の在り方を考える

趣旨

回復傾向にあった日中関係は今年に入って、コロナ禍、特に米中緊張の影響を受けて、彷徨い続けている。国交正常化以来、歴史問題、領土紛争、好感度の浮き沈み、安全保障問題などに振り回されながらも、両国は四つの共同文書、四項目コンセンサス、「歴史を鏡とし未来志向」、「相互信頼」、「戦略的互惠」などの合意と合言葉をもって、関係の安定と発展を目指してきた。しかし今や再び、もしかするとかつてない厳しい試練にさらされている。それを乗り越えていくには、以前、安倍首相が大阪 G20 で語った「永遠の隣国」、両国首脳が共に口にした「新時代」、「共通の努力と責任」などのキーワードが示唆を与えるが、新首相の誕生に合わせて、問題の所在を整理し、その改善・解決法を模索し、その行方を展望していくため、日本華人教授會議は、米中関係をめぐる緊急討論に続き、日中関係を中心とする第二弾を企画した。

開催日時：2020年9月16日<水曜日> 19:00-20:30（北京時間 18:00-19:30）

司会者：呂曉彤（帝京科学大学教授）

挨拶と趣旨説明：廖赤陽（武蔵野美術大学教授）

一、講演の部

① **宮本雄二**（宮本アジア研究所代表、日本日中関係学会会長、元駐中国大使、公益財団法人日中友好会館会長代行）

テーマ「日本新政権の下、“永遠の隣国”は、お互いに何をなすべきか」

② **季衛東**（上海・交通大学教授、同大学日本研究センター主任、元神戸大学教授） テーマ「アメリカの影における中日関係の再定位」

討論者：熊達雲（山梨学院大学教授）

二、パネルディスカッションと質疑応答の部

モデレーター：**朱建榮**（東洋学園大学教授）

参加者：発表者と討論者

開催方法：Zoom によるオンライン会議

使用言語：日本語

参加費：無料

定員：300人

お申込みについての詳細は次ページをご参照下さい。

下記の URL のフォームからお申込み下さい。 → 次頁へ

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScmuHDfsFBehM85-zFH67ej3PPglUfxZ2rxw8yLTzm4cj1-dg/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>

締め切り： 9 月 13 日（月） 20 時（時間厳守）

期限を過ぎると対応できない場合もありますので、時間厳守をお願いいたします。

※ 個人名義で申込みのみ可能になります。登録したご本人おひとりのみ参加できます。

申し込まれた方には、開催前日に Zoom ミーティング会議室 ID と PW を配信します。

ID と PW などの情報が、前日までにお手許に届かない場合は、

緊急連絡先： cjac-jimu@scpj.jp（日本華人教授会議事務局）までご連絡下さい。

多くの皆さまのお申込をお待ちしております。

日本華人教授会議事務局